

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	工事費	進捗率				
湛水防除事業	4	城南地区	桑名市		【全体事業概要】 排水機場の新設 1200×290ps×2台 （立軸斜流ポンプ） 1200×200kw×1台 （立軸斜流ポンプ）	H5	2,919	68.4%	事業推進の支障となる周辺環境の変化はない。 事業推進の支障となる周辺環境の変化はない。	B / C = 1 . 0 9	平成15年度で、除塵機の設置・場内整備工事が完了し、平成16年度から新設ポンプの稼動を予定している。	
							2,792	68.1%				
						H18	-	-				
地盤沈下対策事業	5	城南地区	桑名市		【全体事業概要】 用水路の改修 L = 2 6 , 8 0 7 m 揚水機場の新設 4 0 0 × 9 0 kw × 3 台 （立軸斜流ポンプ） 排水路の改修 L = 1 0 , 7 1 1 m	H5	3,465	68.7%	事業推進の支障となる周辺環境の変化はない。	B / C = 1 . 0 9	平成15年度以降の残工事である用水路工L=7,788m排水路工L=4,527mについて地元と一体となって事業の進捗に努め、事業高価が発揮できるよう進めていく。	
							3,011	66.3%				
						H19	149	84.1%				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
海岸環境整備事業	6	島勝地区	海山町		<p>【全体事業概要】 離岸堤（潜堤） L=138m 養浜工 A=20,700㎡ 堤防工（階段） L=79m 道路工 L=250m 付帯施設工（場内整備、ハウス等） 1式</p> <p>【事業目的】 農地保全に係る海岸地域において、国土保全と調和を図りつつ休養の場として、その利用に供するための海岸環境整備を行う。</p>	H 4	2,763	91.7%	<p>主な工事は完了し残る工事は、養浜砂の安定化対策工事。 平成14年度に離岸堤、養浜工がほぼ完成し防災効果は発現している。本年7月に海開き（供用開始）をし、県内外から多数の海水浴客が訪れている。</p> <p>熊野古道の世界遺産登録に向けて、集客交流の機運が盛り上がってきている。海山町では銚子川沿いに集客交流施設が近年整備されて、入り込み客が増加している。町では当事業で整備される海水浴場をこれらと連携されることによって、地域の活性化に繋げていきたいと考え、早期完了を望んでいる。</p>	B / C = 1 . 1 3 今年度の調査設計では、各種工法を比較検討し低コストで効果の大きい工法を採用する。	平成16年度事業完了を目標に事業を推進していく。	
						H 1 6	21	100.0%				
一般農道整備事業	7	玉城南部地区	玉城町		<p>【全体事業概要】 延長 2 . 9 5 k m 幅員 5 . 5 (7 . 0) m</p> <p>【事業目的】 広域農道サニ道路へ接続する幹線農道を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。</p>	S 6 3	823	80.8%	<p>全体2 . 9 5 k mのうち、2 . 1 9 k mを完成している。</p> <p>事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。</p>	B / C = 1 . 4 1 他事業との調整により、残土処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト削減に努めている。	残る用地補償を今年度に終え、平成17年度完成供用を目指して事業を推進する。	<p>平成10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後5年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。</p>
						H 1 7	219	90.8%				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					
						目標年	工事費	進捗率					
揮発油税財源身替農道整備事業	8	松阪多気地区	松阪市、多気町		【全体事業概要】 延長 2.1 km 幅員 6.0 (8.0) m	H 5	1,256	86.5%	全体 2.1 kmのうち、1.6 kmを完成している。	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B / C = 1.67 残土近辺処理による処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト削減に努めている。	残る用地を早期に確保し、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
					【事業目的】 多気町と松阪市の一部地域の幹線農道を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。	H 1 8	231	87.4%					
ふるさと農道整備事業	9	南勢東部地区	南勢町		【全体事業概要】 延長 1.42 km 幅員 5.5 (9.0) m、歩道 2 m	H 5	1,510	71.4%	全体 1.42 kmのうち、1.22 kmを完成している。	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B / C = 1.62 残土近辺処理による処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト削減に努めている。	残る用地を早期に確保し、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
					【事業目的】 一般農道切原へ接続する農道を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。	H 1 9	263	99.6%					

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（県事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
						採択年	総事業費	進捗率				
						目標年	工事費	進捗率				
ふるさと農道整備事業	10	南勢西部地区	南勢町		【全体事業概要】 延長 1.35 km 幅員 4.0 (5.0) m 【事業目的】 受益地内の農道を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と農業集落排水処理施設や避難港へのアクセスなどの生活環境の改善、地域の活性化を図る。	H5	507	53.6%	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B/C = 1.73 他事業との調整により、用地費を低減するとともに、再生材を使用しコスト縮減に努めている。	残る用地補償を今年度に終え、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
							492	52.2%				
						H19	15	93.3%				
ふるさと農道整備事業	11	青山地区	青山町		【全体事業概要】 延長 4.6 km 幅員 5.5 (7.0) m 【事業目的】 伊賀地域を回廊に結ぶ基幹農道（伊賀コリドー）の一部区間を整備し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。	H5	3,615	89.0%	事業推進の支障となるような周辺環境の変化はない。	B/C = 2.43 他事業との調整により、残土処理費を低減するとともに、再生材を使用や伐採木根枝を法面緑化に利用によりコスト縮減に努めている。	用地の確保も終えており、平成17年度完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から11番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるとともに、農道整備事業と農業振興との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
							3,099	87.3%				
						H17	516	100.0%				

平成15年度三重県公共事業再評価箇所一覧表（市町村事業）

（単位：百万円）

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					
						目標年	工事費	進捗率					
漁業集落環境整備事業	103	錦地区	紀勢町		<p>【全体事業概要】 集落道 L = 50m 防火水槽 2基 避難所（用地整備） 2箇所</p>				<p>事業実施に向けた測量調査を実施。</p>	<p>当地区においても近隣地域同様に過疎化の傾向となっている。集落全体を活性化するため、集落道を整備し生活環境の利便性・安全性の向上を図る。また、近年、その発生が危惧されている地震津波災害に備えた防災安全施設等の整備が強く望まれている。</p>	<p>費用便益比 B / C = 1 . 49 再生路盤材の活用、建設資材の既製品等使用による施工の効率化によるコスト縮減を図る。</p>	<p>平成20年度までに事業を完了して、集落内の安全性、利便性の向上を図りたい。</p>	<p>103番については、平成9年度に事業着手し5年を経過して未着手の事業である。当事業は当初計画が変更され、大半が新規ともいえる項目になっているため本委員会の再評価になじまないと判断する。</p> <p>しかしながら、津波高潮に対する防災は、緊急を要するものであることから、集落道整備とあわせて事業継続を了承する。</p> <p>ただ、安全が優先されなければならない防災事業といえども、代替案との比較等を十分に行い、コスト縮減を図ることを求めるものである。</p> <p>また、当事業の遂行が長期にわたった滞っていたことを十分反省され、行政として速やかな対応をされることを強く望むものである。</p>
						H 9	192	5.2%					
						H 2 0	81	0.0%					